

2020年2月期・第3四半期

# 決算説明資料

---

2020年1月21日



**株式会社竹内製作所**

(証券コード:6432)

# 台風19号に対する当社の対応状況（初動～今後の見通し）

月 日			状 況
10月	10日	木	「第2四半期・決算短信」、「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を開示
	12日	土	台風19号が上陸、夕方から夜遅くに長野県に最接近
	13日	日	<b>情報収集、復旧活動スタート</b>
	14日	祝	(BCPに則した初動、情報収集)
	15日	火	適時開示・第一報（当社に人的被害なし、工場操業に影響なし）
	16日	水	適時開示・第二報（サプライヤー数社が浸水被災、生産に影響あり） → <b>部品供給制約下での事業継続プラン(代替部品による生産)の策定に着手</b>
	17日	木	10月23日に予定されていた「第2四半期・決算説明会」の延期を決定
			<ul style="list-style-type: none"> <li>被災サプライヤーからの部品供給が途絶</li> <li><b>生産調整(減産)のうえ</b>、10月は在庫されていた部品で生産を継続</li> </ul>
11月			<ul style="list-style-type: none"> <li>代替部品による生産へと暫定的に切り替え</li> </ul>
12月			<ul style="list-style-type: none"> <li>代替部品による生産を継続（12月中ごろから、被災サプライヤーから部品供給が再開）</li> </ul>
1月			<ul style="list-style-type: none"> <li>〃（被災サプライヤーからの供給数量は次第に回復）</li> </ul>
2月			<ul style="list-style-type: none"> <li>〃（2月中は代替部品による生産 及び 生産調整が続く見通し）</li> </ul>

## 【今後の見通し】

- ① 代替部品による生産は暫定対策であり、従来部品の供給が戻れば、当社生産も元に戻す（調達リスク分散のため、全てを元に戻すかを検討中）
- ② 下期の生産台数は5.0%減産、減産に伴い下期の販売台数は4.2%減少する見込み（対前回予想）

## ▶ 中期経営計画の課題進捗

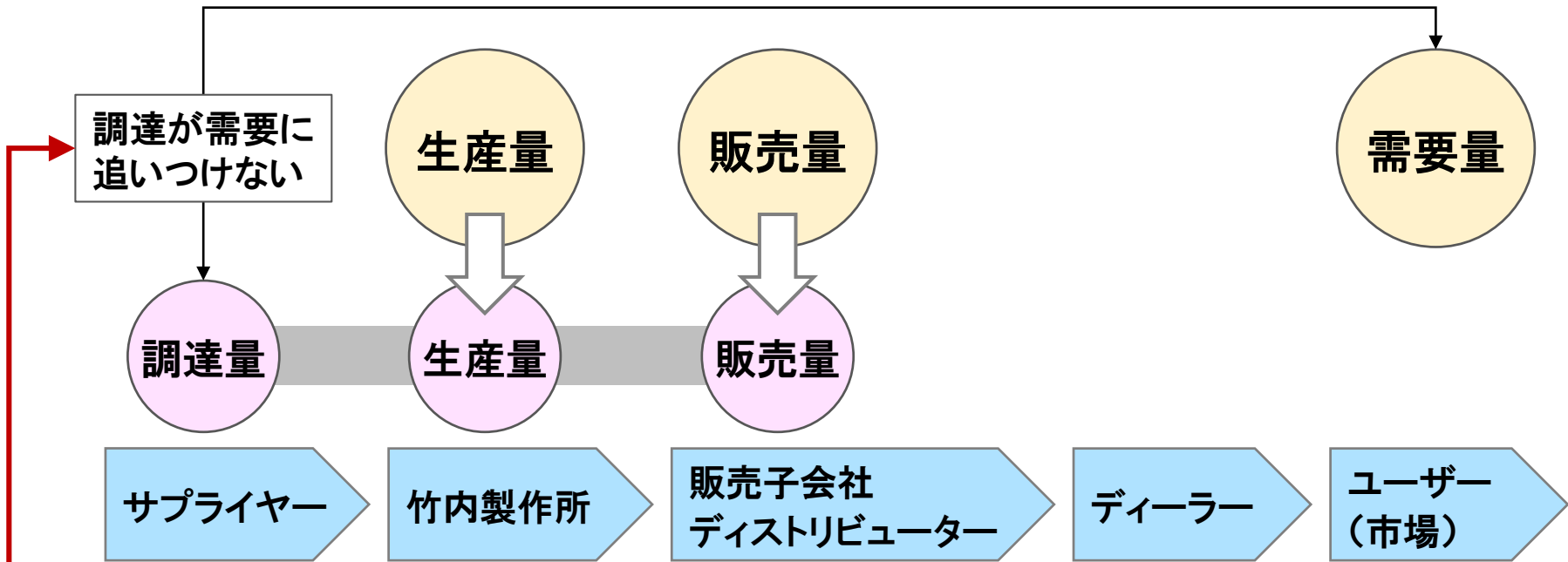
▶ 市場環境、需要動向

▶ 2020年2月期・連結業績 3Q累計実績

▶ 2020年2月期・連結業績 通期予想

▶ ご参考資料

(2020年2月期・連結業績 上期実績 説明資料を付録)



## 対策と進捗

### (1) 既存サプライヤーとの連携強化

→ 既存サプライヤーの協力が得られ、**調達量は徐々に増加**している。

### (2) 新規サプライヤーをグローバルに開拓

→ 新規サプライヤーから部材を調達し、品質検査と設計変更が完了した機種より、**量産ラインへの投入**を開始した。

### (3) 新規サプライヤーへの技術協力、品質監査・指導

→ 今後の取り組み事項

# アフターサポート強化 (Takeuchi US 倉庫を増設)

- ▶ 完成予定 2020年1月 (間もなく完成)
- ▶ 建築面積 約12万平方フィート (約11,150㎡、約3,400坪)
- ▶ 投資額 概算 500万USD (5億4,000万円、1USD=108円)



- 保守パーツの在庫を拡充(量、ラインナップ)し、リードタイムを短縮  
→ **アフタービジネスの拡大** につなげる
- 製品本体を拡販していくためにも、倉庫拡大は不可欠 (増設部には本体在庫も収容)



# アフターサポート強化 (Takeuchi US トレーニングセンター)

- ▶ 完成予定 2020年5月
- ▶ 土地面積 約9.2エーカー (約37,200㎡、約11,250坪)
- ▶ 建築面積 約3.5万平方フィート (約3,250㎡、約980坪)
- ▶ 投資額 概算 380万USD (4億1,040万円、1USD=108円)



- 当社製品がお客様に選ばれ続けるためには、アフターサービスのレベル向上が重要
- ディーラートレーニングを強化し、より素早く、より精度の高い保守サービスを提供

# 設備投資計画

本社・第3工場 竣工 (約30億円)

びんぐし試験棟 建設 (約9億円)



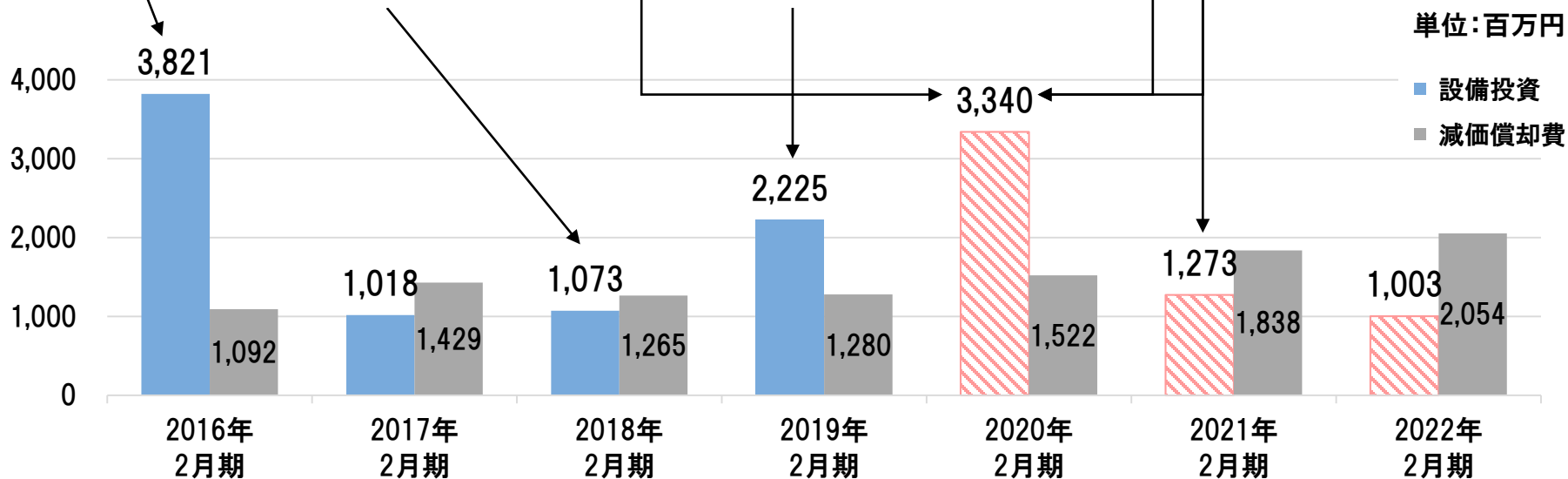
2020年2月期  
● 米国 (Takeuchi US)  
倉庫増設(本体&保守パーツ)  
約5.4億円 (500万USD)



2021年2月期  
● 米国 (Takeuchi US)  
トレーニング・センター開設  
約4.1億円(380万USD)  
● 欧州  
保守パーツ・センター開設

本社・第1工場 増設 (約3億円)

中国・青島工場 増設 (約13億円)



▶ 中期経営計画の課題進捗

▶ **市場環境、需要動向**

▶ 2020年2月期・連結業績 3Q累計実績

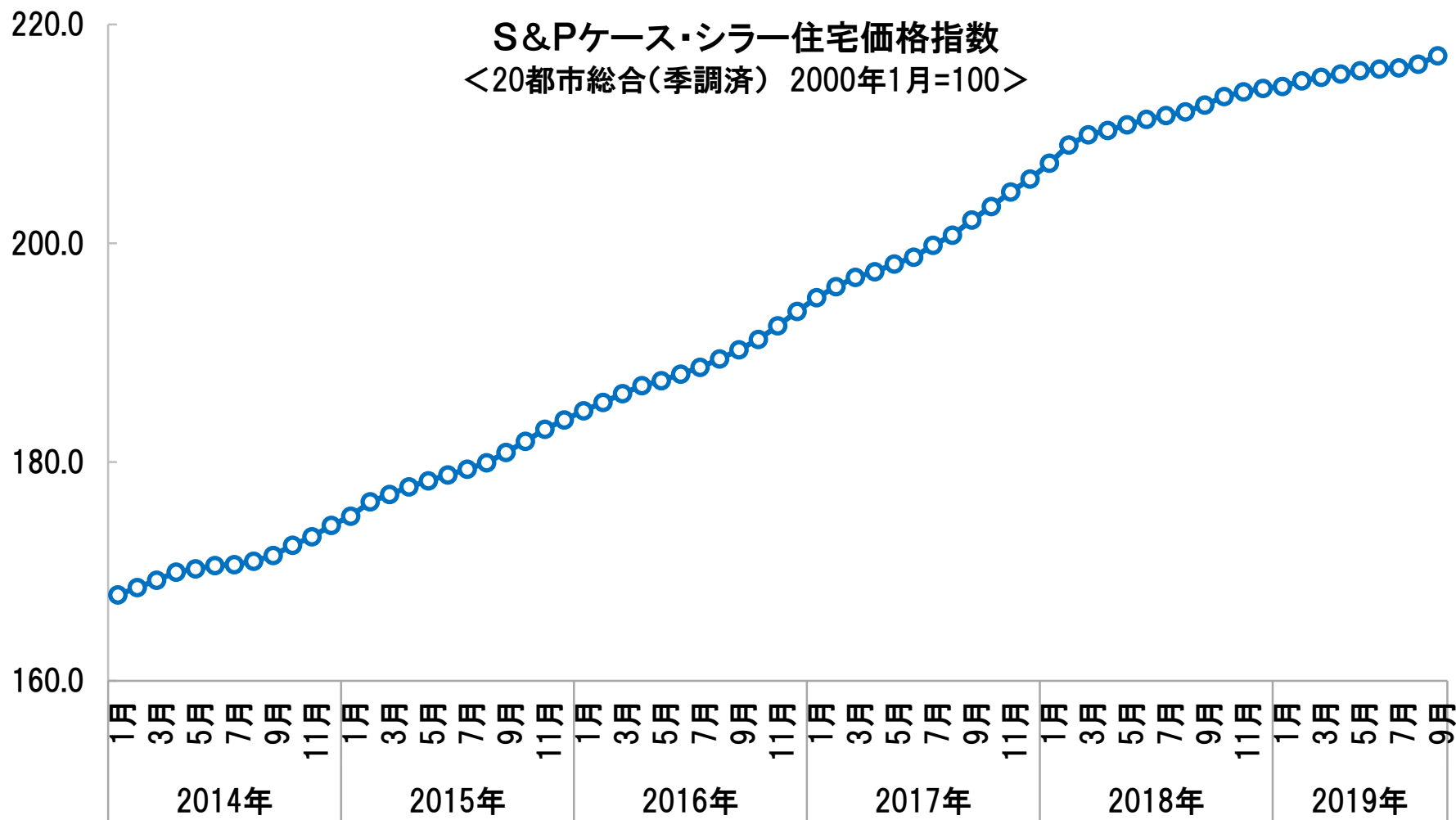
▶ 2020年2月期・連結業績 通期予想

▶ **ご参考資料**

(2020年2月期・連結業績 上期実績 説明資料を付録)



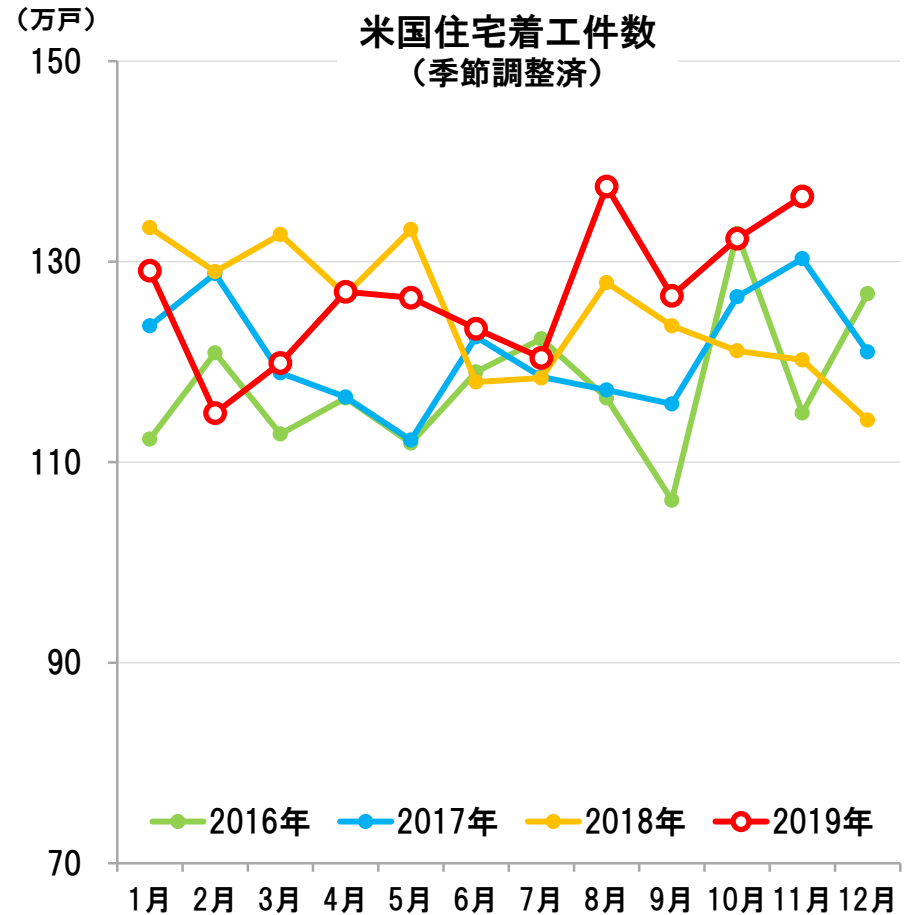
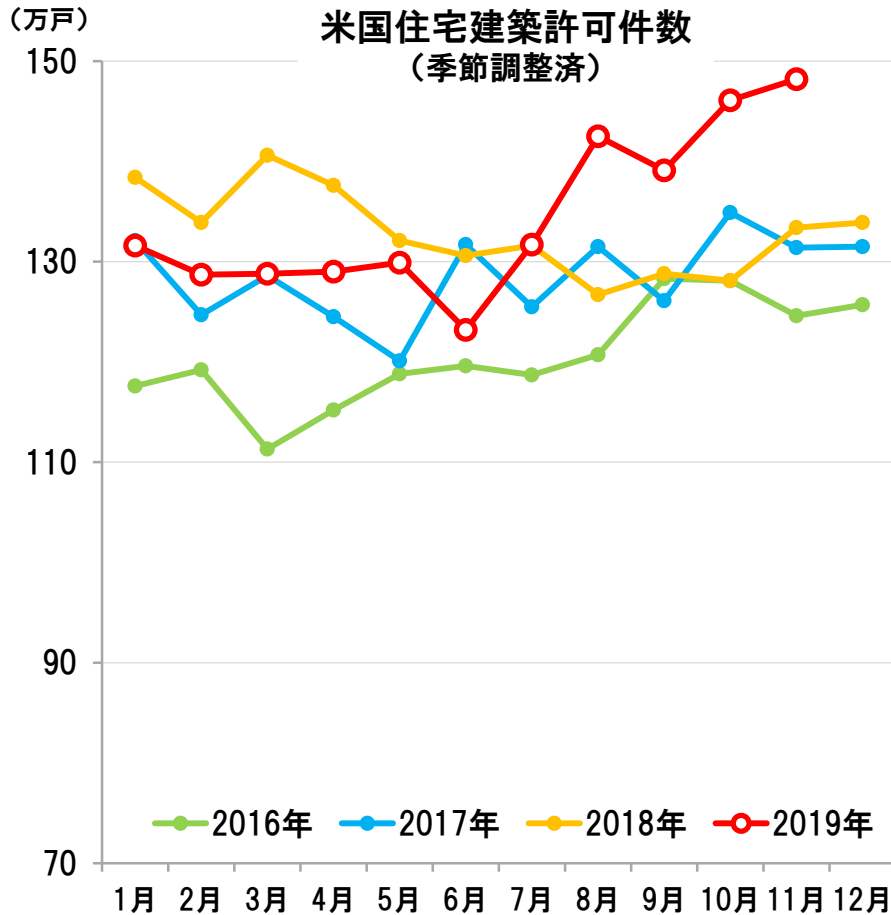
## ▶▶ 米国の住宅投資環境



(出所) S&P

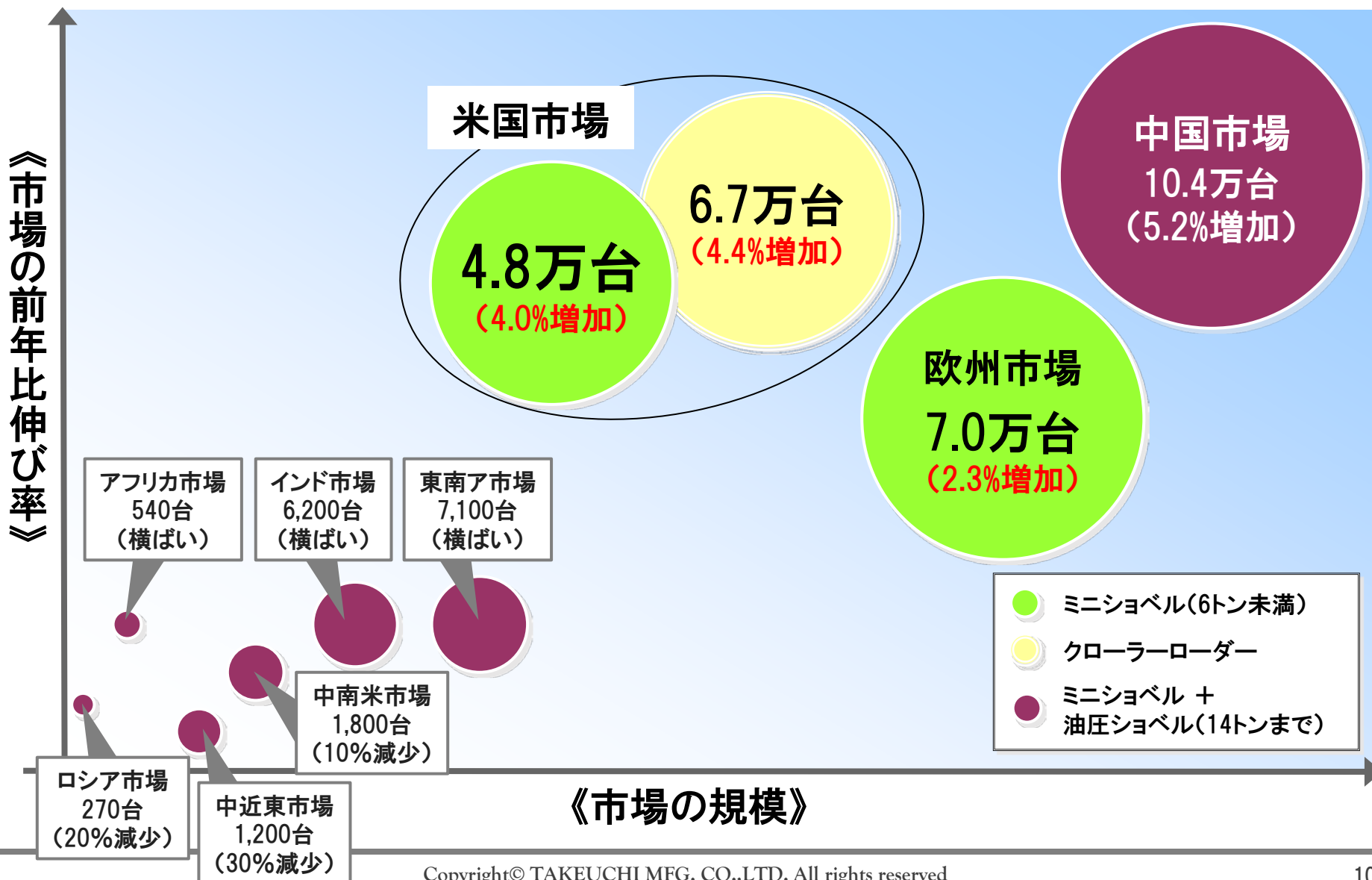
## ▶▶ 米国住宅市場の現況

➤ 米国の堅調な雇用・所得環境を背景とした良好な個人消費を踏まえ、住宅需要は力強さを取り戻し、今後も底堅いと予測



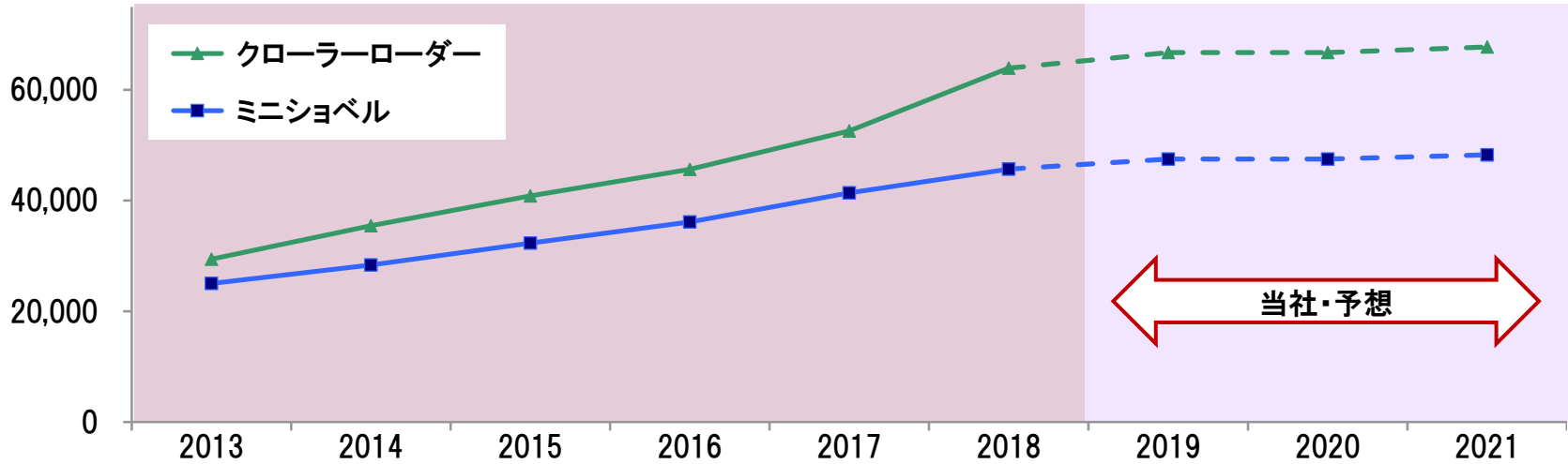
## ▶▶ 2019年の市場見通し概観（カッコ内は前年比伸び率）

※ 当社予想



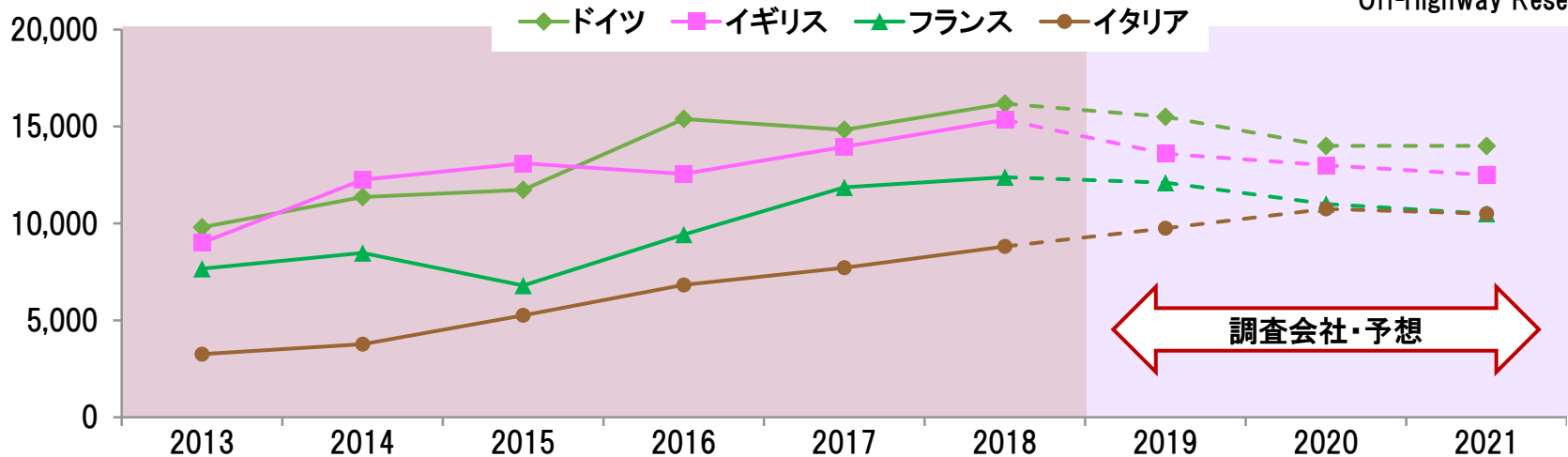
## ▶▶ 北米 ミニショベル・クローラーローダーの中期市場見通し

(出所) 実績は工業会(AEM)  
予想は当社



## ▶▶ 欧州 ミニショベルの中期市場見通し

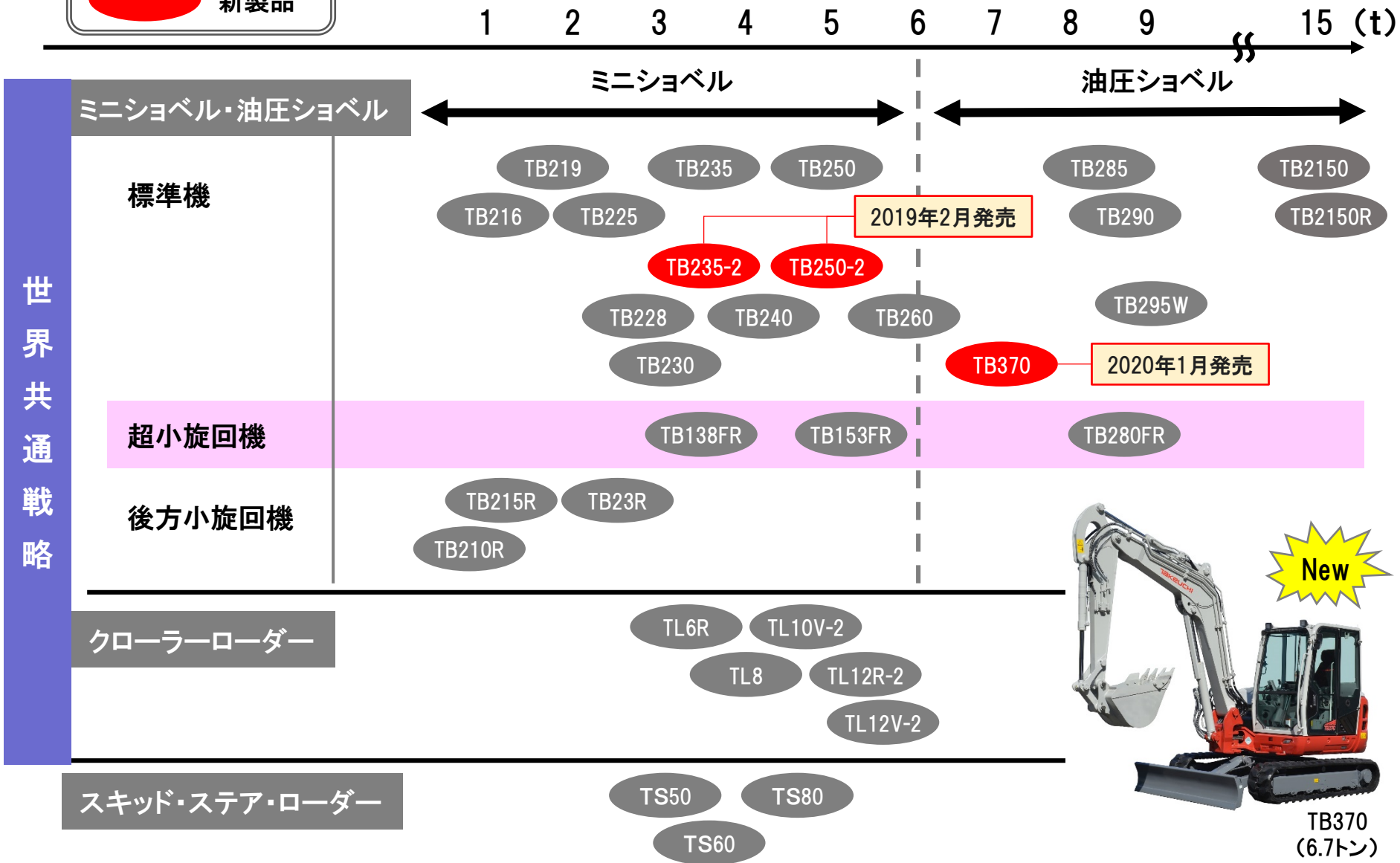
(出所) 実績、予想ともに  
Off-Highway Research社





# 製品導入実績

 新製品



世界共通戦略



2019年4月 ドイツ、ミュンヘン

**bauma**  
2019

- ✓ 常にお客様でいっぱい
- ✓ 上々の前評判



2020年1月～ 販売開始



- 主な特長
- ① TB200シリーズからTB300シリーズへ
  - ② 欧米の最新の排出ガス規制に適合
  - ③ 低燃費、低騒音設計
  - ④ 8インチ・カラータッチパネルを標準装備
  - ⑤ TFM(Takeuchi Fleet Management)システムを標準搭載

なくてはならない“頼れる存在”で、タケウチ製品を使わない日はありません。



- 米国ジョージア州の造園会社
- Hutcheson Horticultural Company社
- オーナー Mark Hutcheson様



## ▶ 主な用途

### □ 造園業全般

芝植え、植樹、整地、がれき運搬、配水管の埋設等にミニショベルとクローラーローダーを組み合わせ使用

## ▶ 評価

- 敷地の境界線ちかくでは、隣地を傷つけないよう気を使うが、TB235-2は扱いやすく、思い通りに作業ができるので重宝している。

## ▶ Takeuchiを選ぶ理由

- とにかくタフ(頑丈)、ほとんど故障しない
- 良質の鋼材でしっかりと作られているので、長く使える(下取り価格の高さに直結する)

## ▶▶ TB235-2

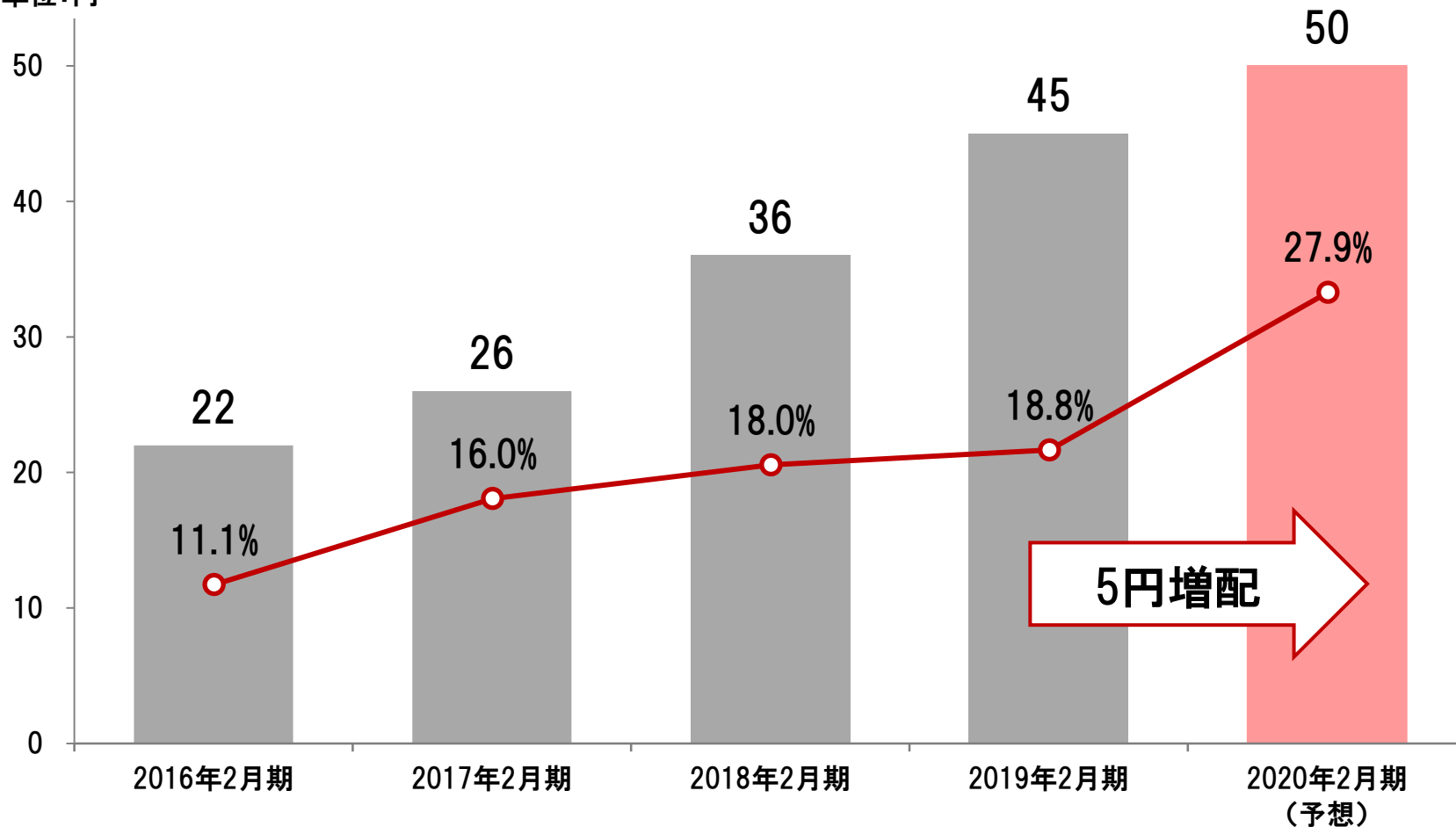
- ✓ 製品種別(質量) ミニショベル(3.5トン)
- ✓ 販売開始 2019年2月
- ✓ 主な特長
  - ・ より滑らかな操作性、より広々とした運転席を実現
  - ・ 環境にやさしく、欧州第5次排出ガス規制に適合



配当方針：経営体質の強化並びに今後の事業展開に備えるために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続に努めることを基本方針としております。

## 1株当たり配当金、連結配当性向の推移

単位：円





- ▶ 中期経営計画の課題進捗
- ▶ 市場環境、需要動向
- ▶ **2020年2月期・連結業績 3Q累計実績**
- ▶ 2020年2月期・連結業績 通期予想
- ▶ **ご参考資料**  
(2020年2月期・連結業績 上期実績 説明資料を付録)

## (1) 販売台数は米国で減少、欧州で増加、トータルで微増 (対前年同期比)

- 北米の販売台数は **3.1%減少** (上期:10.4%減少、3Q:13.1%増加、対前年同期比)
  - 天候不良の影響で先延ばしにされた分を3Qから挽回
  - 買入部品の調達制限の影響により、米国向けの製品出荷を制限
- 欧州の販売台数は **8.4%増加** (上期:14.4%増加、3Q:3.9%減少、対前年同期比)
  - 2018年3月発売のミニショベル(TB225/2.3トン)が引き続き販売好調
  - 2019年2月発売のミニショベル(TB235-2/3.5トン、TB250-2/5.0トン)も順調な滑り出し
  - 国別では、イギリスが軟調なものの、フランス、ドイツ、オーストリア、オランダが販売好調
- トータル販売台数は **0.8%増加** (上期:0.5%増加、3Q:1.3%増加、対前年同期比)

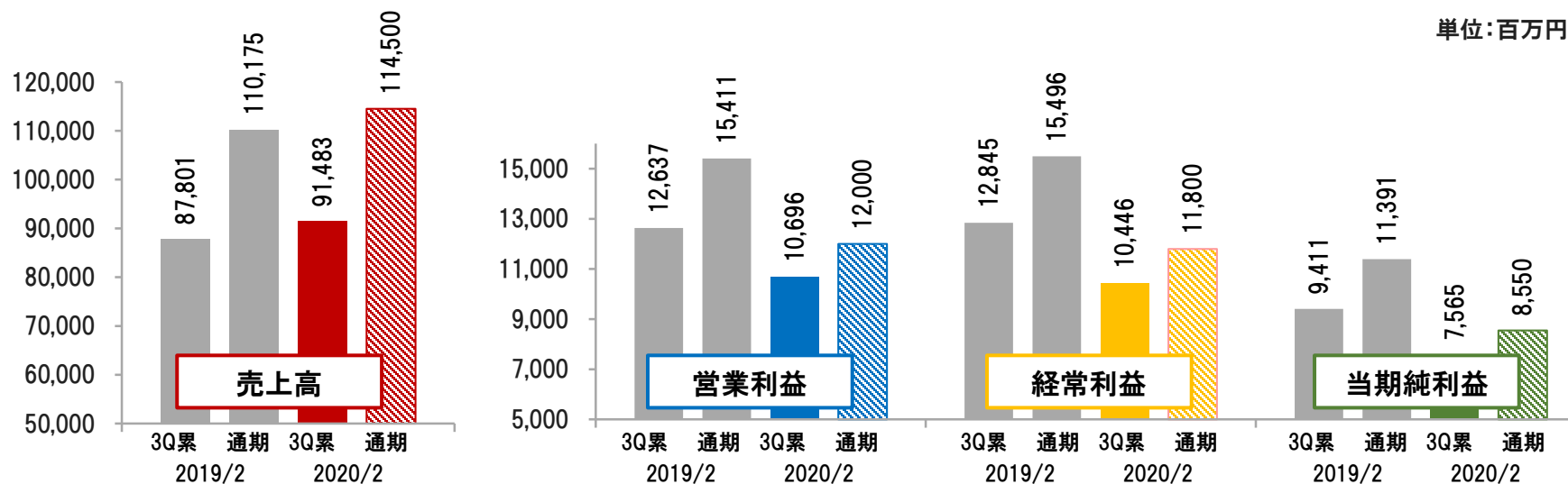
## (2) 売上高は4.2%増加したが、営業利益は15.4%減少 (連結、対前年同期比)

### 【主な要因】

- 拡販に向けた政策的な販売価格を設定
- 変動費(主に原材料費)、固定費(労務費、減価償却費など)ともに製造原価が増加
- 販管費(運搬費、貸倒引当金繰入額、人件費など)が10億2,800万円増加  
(為替影響を除く)

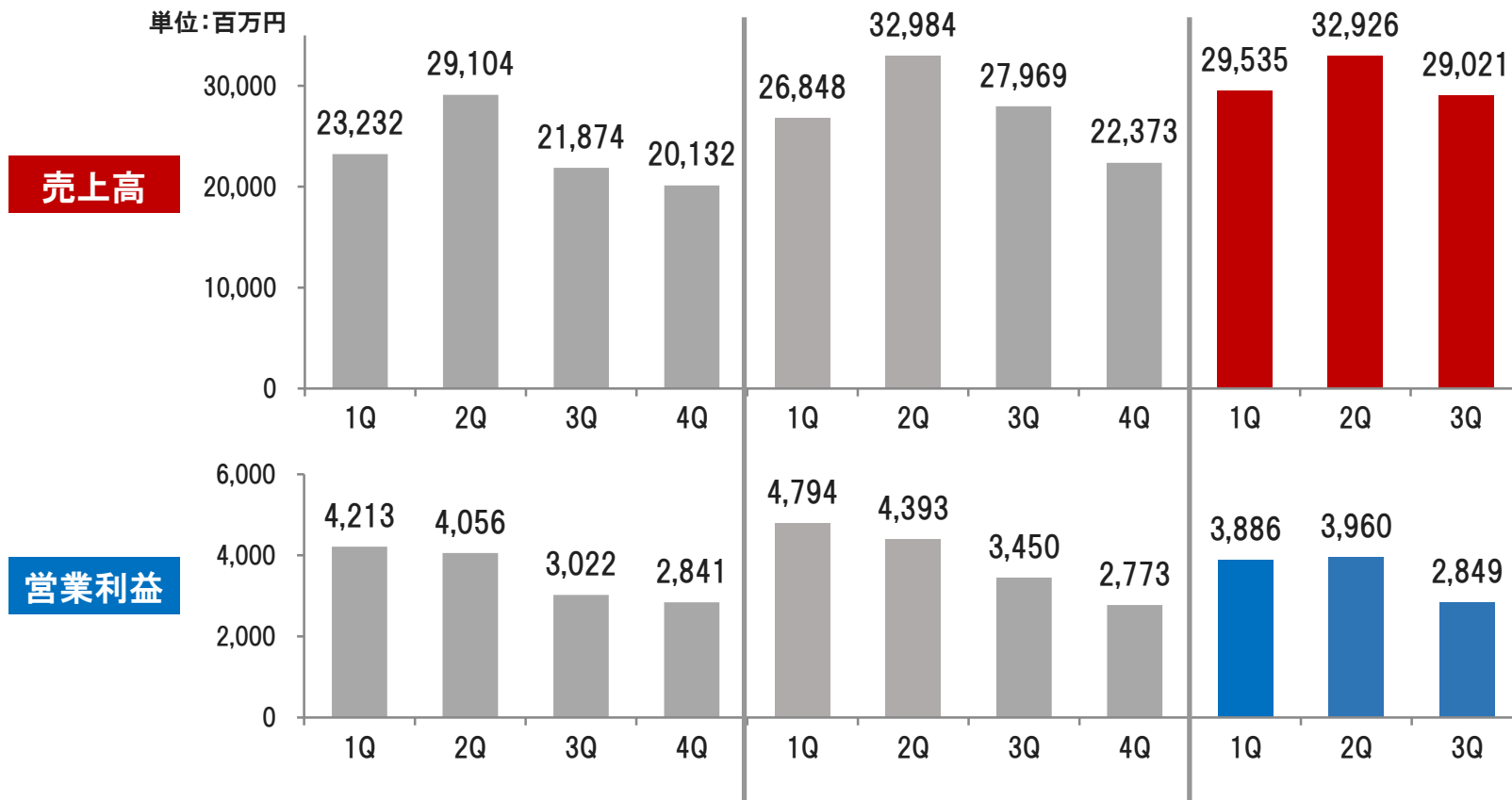
# 連結業績ハイライト (2020年2月期・3Q累計期間 実績)

単位:百万円	2019年2月期		2020年2月期			
	3Q実績 (累計期間)	売上比率	3Q実績 (累計期間)	売上比率	前年同期 増減額	前年同期 増減率
■ 売上高	87,801	—	91,483	—	+3,681	+4.2%
■ 営業利益	12,637	14.4%	10,696	11.7%	△1,941	△15.4%
■ 経常利益	12,845	14.6%	10,446	11.4%	△2,398	△18.7%
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	9,411	10.7%	7,565	8.3%	△1,846	△19.6%
設備投資額	1,107	1.3%	2,356	2.6%	+1,248	+112.8%
減価償却費	928	1.1%	1,075	1.2%	+146	+15.8%
受注高	89,318	—	90,329	—	+1,010	+1.1%
受注残高	24,040	—	29,135	—	+5,095	+21.2%



# 四半期毎の売上高・営業利益

単位:百万円

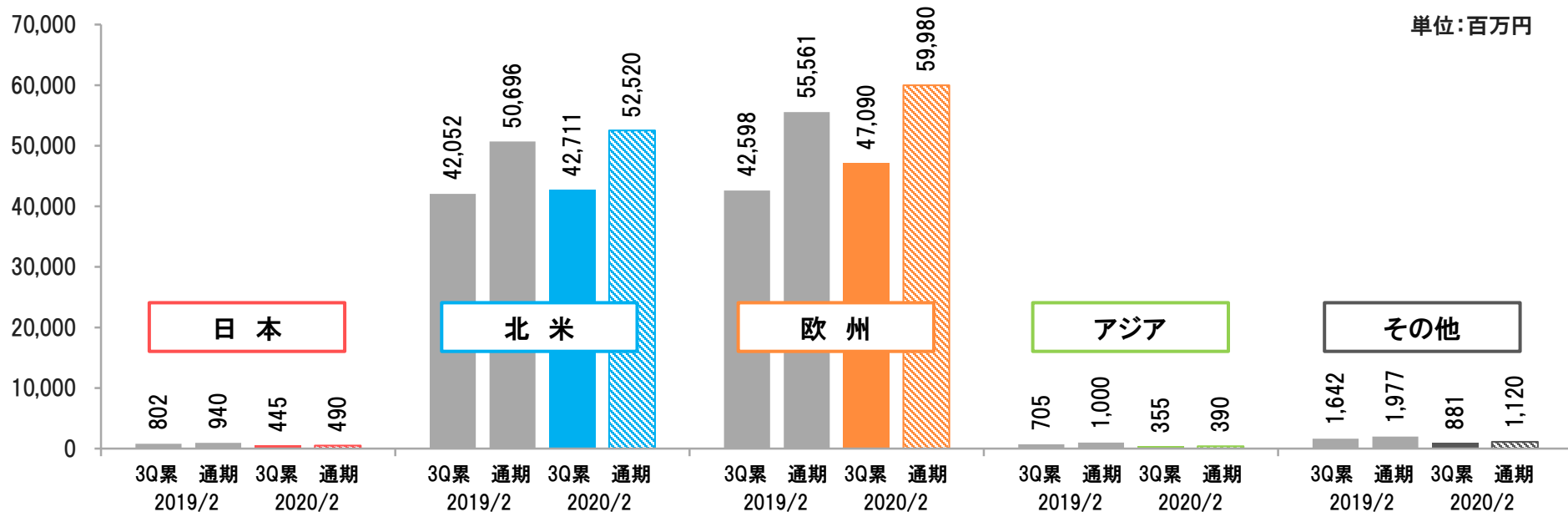


	2018年2月期				2019年2月期				2020年2月期		
為替レート	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
円/米ドル	111.90	111.14	112.17	111.24	107.57	109.91	112.68	111.38	111.19	108.58	107.80
円/英ポンド	141.15	144.43	148.74	151.95	149.90	144.87	145.77	143.48	145.48	135.73	133.02
円/ユーロ	119.88	127.31	132.20	133.97	131.30	128.07	130.50	127.71	124.85	122.04	118.80
円/人民元	16.42	16.29	16.69	17.09	17.03	16.97	16.29	16.25	16.43	16.00	15.26



# 地域別売上高 (2020年2月期・3Q累計期間 実績)

単位:百万円		2019年2月期		2020年2月期			
		3Q実績 (累計期間)	構成比	3Q実績 (累計期間)	構成比	前年同期 増減額	前年同期 増減率
■ 日	本	802	0.9%	445	0.5%	△356	△44.5%
■ 北	米	42,052	47.9%	42,711	46.7%	+658	+1.6%
■ 欧	州	42,598	48.5%	47,090	51.5%	+4,491	+10.5%
■ ア	ジ	705	0.8%	355	0.4%	△349	△49.5%
■ そ	の	1,642	1.9%	881	1.0%	△761	△46.3%
売上高合計		87,801	100.0%	91,483	100.0%	+3,681	+4.2%
海外売上高		86,999	99.1%	91,037	99.5%	+4,038	+4.6%



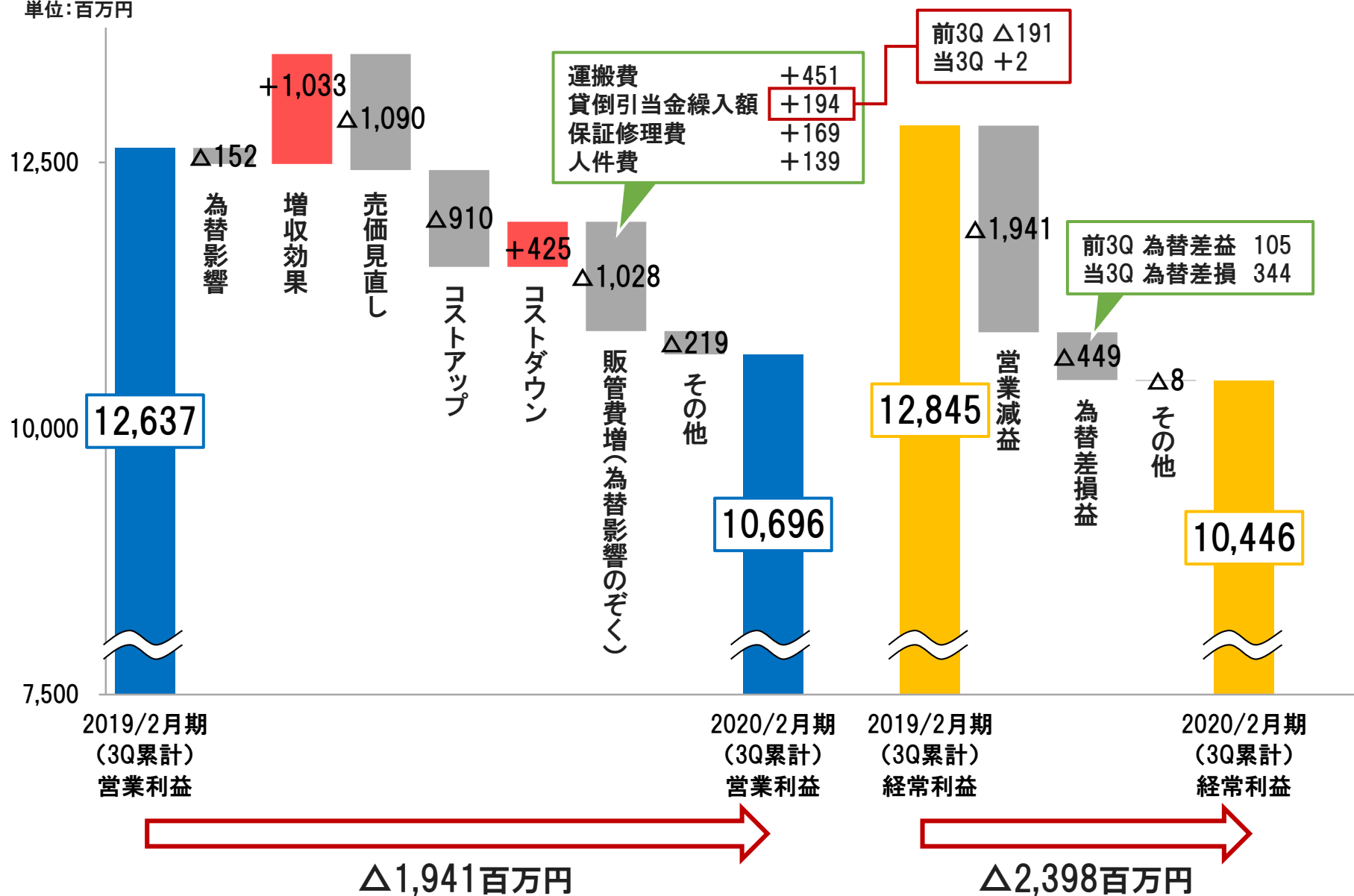
# 所在地別セグメント情報 (2020年2月期・3Q累計期間 実績)

単位:百万円	2019年2月期		2020年2月期			
	3Q実績 (累計期間)	利益率	3Q実績 (累計期間)	利益率	前年同期 増減額	前年同期 増減率
日本売上高	30,109	—	34,848	—	+4,739	+15.7%
セグメント利益	9,052	30.1%	7,514	21.6%	△1,537	△17.0%
米国売上高	42,055	—	42,711	—	+656	+1.6%
セグメント利益	2,346	5.6%	2,754	6.4%	+408	+17.4%
英国売上高	10,409	—	8,774	—	△1,635	△15.7%
セグメント利益	570	5.5%	525	6.0%	△45	△7.9%
フランス売上高	4,840	—	4,935	—	+94	+2.0%
セグメント利益	177	3.7%	220	4.5%	+42	+23.8%
中国売上高	387	—	213	—	△173	△44.8%
セグメント利益	369	95.6%	26	12.3%	△343	△92.9%

- 日本セグメント (竹内製作所)
  - ・ 建設機械の開発、製造
  - ・ 日本国内での建設機械の販売 / 欧州及びアジア・オセアニア地域のディストリビューターへの建設機械の販売
  - ・ 2018年6月1日付をもって攪拌機事業を譲渡 (2019年2月期は1Qのみ業績貢献)
- 米国セグメント (TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD.)
  - ・ 米国及びカナダでの建設機械の販売
- 英国セグメント (TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD.)
  - ・ 英国での建設機械の販売
- フランスセグメント (TAKEUCHI FRANCE S.A.S.)
  - ・ フランスでの建設機械の販売
- 中国セグメント (竹内工程機械(青島)有限公司)
  - ・ 中国での建設機械の販売
  - ・ 中国及びアジア向けの建設機械の製造
  - ・ 日本セグメント向けの建設機械の製缶品(部材)の製造、調達及び販売

# 連結損益増減要因 (2020年2月期-3Q累計期間 実績)

単位: 百万円



# 連結貸借対照表 (2019年11月30日現在)

単位:百万円

		2019年2月28日		2019年11月30日			
		残高	構成比	残高	構成比	増減額	増減率
資産の部	現金及び預金	35,072	33.9%	33,606	30.8%	△1,466	△4.2%
	受取手形及び売掛金	23,156	22.4%	31,381	28.7%	+8,225	+35.5%
	たな卸資産	30,140	29.1%	26,492	24.3%	△3,648	△12.1%
	その他流動資産	1,310	1.3%	2,266	2.1%	+955	+72.9%
	流動資産	89,680	86.6%	93,746	85.9%	+4,065	+4.5%
	固定資産	13,876	13.4%	15,415	14.1%	+1,539	+11.1%
合計		103,557	100.0%	109,162	100.0%	+5,605	+5.4%
負債・純資産の部	支払手形及び買掛金	20,561	19.9%	21,992	20.1%	+1,431	+7.0%
	その他流動負債	5,257	5.1%	5,132	4.7%	△124	△2.4%
	流動負債	25,818	24.9%	27,125	24.8%	+1,307	+5.1%
	固定負債	558	0.5%	447	0.4%	△110	△19.8%
	負債合計	26,376	25.5%	27,573	25.3%	+1,196	+4.5%
	純資産合計	77,180	74.5%	81,589	74.7%	+4,408	+5.7%
合計		103,557	100.0%	109,162	100.0%	+5,605	+5.4%



- ▶ 中期経営計画の課題進捗
- ▶ 市場環境、需要動向
- ▶ 2020年2月期・連結業績 3Q累計実績
- ▶ **2020年2月期・連結業績 通期予想**
- ▶ ご参考資料  
(2020年2月期・連結業績 上期実績 説明資料を付録)

# 業績予想のポイント (2020年2月期・通期予想)

## (1) 通期の業績予想を修正

単位:百万円	前回予想 (2019年10月10日公表)		今回修正予想 (2020年1月10日公表)					
	下期予想	通期予想	下期予想	増減額	増減率	通期予想	増減額	増減率
日本	402	740	152	△250	△62.2%	490	△250	△33.8%
北米	25,008	52,620	24,908	△100	△0.4%	52,520	△100	△0.2%
欧州	26,359	59,960	26,379	+20	+0.1%	59,980	+20	+0.0%
アジア	231	480	141	△90	△39.0%	390	△90	△18.8%
その他	541	1,200	461	△80	△14.8%	1,120	△80	△6.7%
売上高合計	52,539	115,000	52,039	△500	△1.0%	114,500	△500	△0.4%
営業利益	4,453	12,300	4,153	△300	△6.7%	12,000	△300	△2.4%
経常利益	4,390	11,900	4,290	△100	△2.3%	11,800	△100	△0.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,217	8,700	3,067	△150	△4.7%	8,550	△150	△1.7%

## (2) 販売台数、売上高の見通し

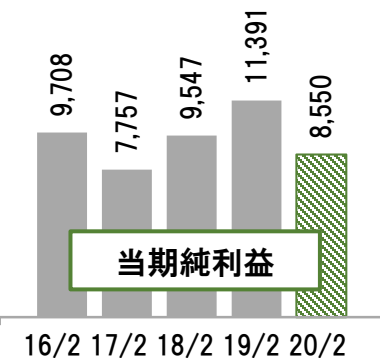
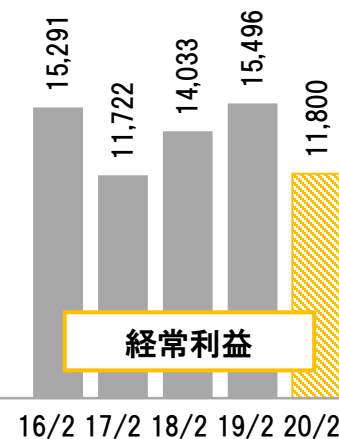
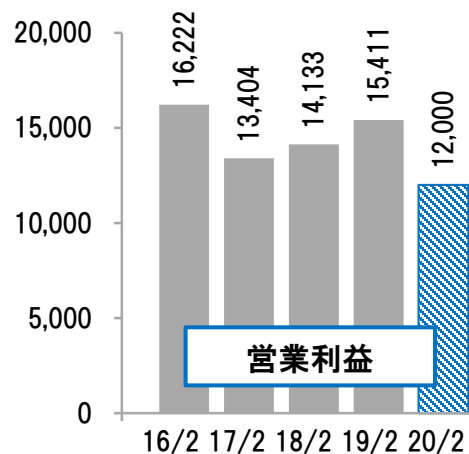
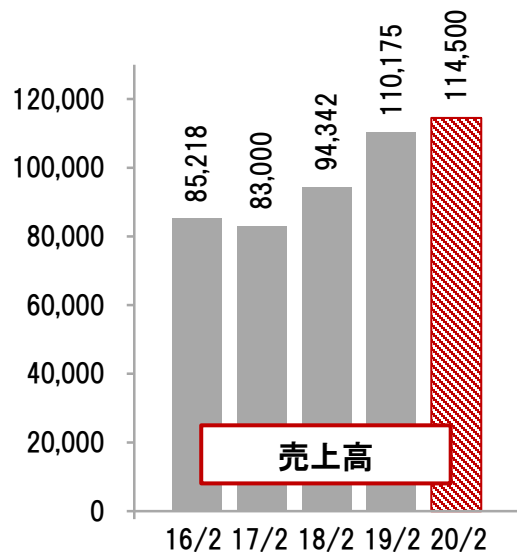
- 台風災害発生の直後から生産調整(減産)を余儀なくされたことに伴い、下期の販売台数は、**北米△6.4%、欧州△0.7%、トータル△4.2%**(対前回予想)
- 前提為替レートを円安に設定したため、下期の連結売上高は**5億円(△1.0%)の減収**に留まる(対前回予想)

## (3) 利益見通し

- 出荷減による運搬費の減少を見込むものの、売上高の減少、台風19号関連の対策コストを見込んだため、各段階利益はいずれも前回予想を下回る見込み

# 連結業績予想ハイライト (2020年2月期・通期予想)

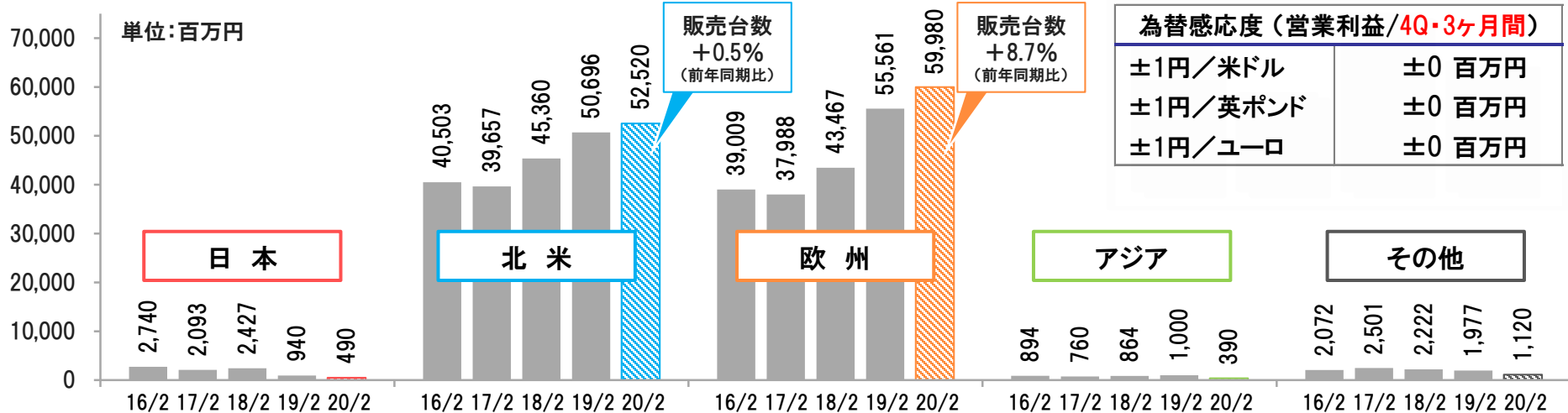
単位:百万円	2019年2月期		2020年2月期					
	通期	売上比率	3Q実績 (累計期間)	4Q予想 (3ヶ月間)	通期予想	売上比率	増減額	増減率
■ 売上高	110,175	—	91,483	23,017	114,500	—	+4,324	+3.9%
■ 営業利益	15,411	14.0%	10,696	1,304	12,000	10.5%	△3,411	△22.1%
■ 経常利益	15,496	14.1%	10,446	1,354	11,800	10.3%	△3,696	△23.9%
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	11,391	10.3%	7,565	985	8,550	7.5%	△2,841	△24.9%
設備投資額	2,225	2.0%	2,356	984	3,340	2.9%	+1,114	+50.1%
減価償却費	1,280	1.2%	1,075	447	1,522	1.3%	+241	+18.8%
1株純利益	238.83円	配当性向	158.63円	20.65円	179.28円	配当性向	△59.55円	△24.9%
1株配当金	45.00円	18.8%	—	—	50.00円	27.9%	+5.00円	+11.1%



単位:百万円

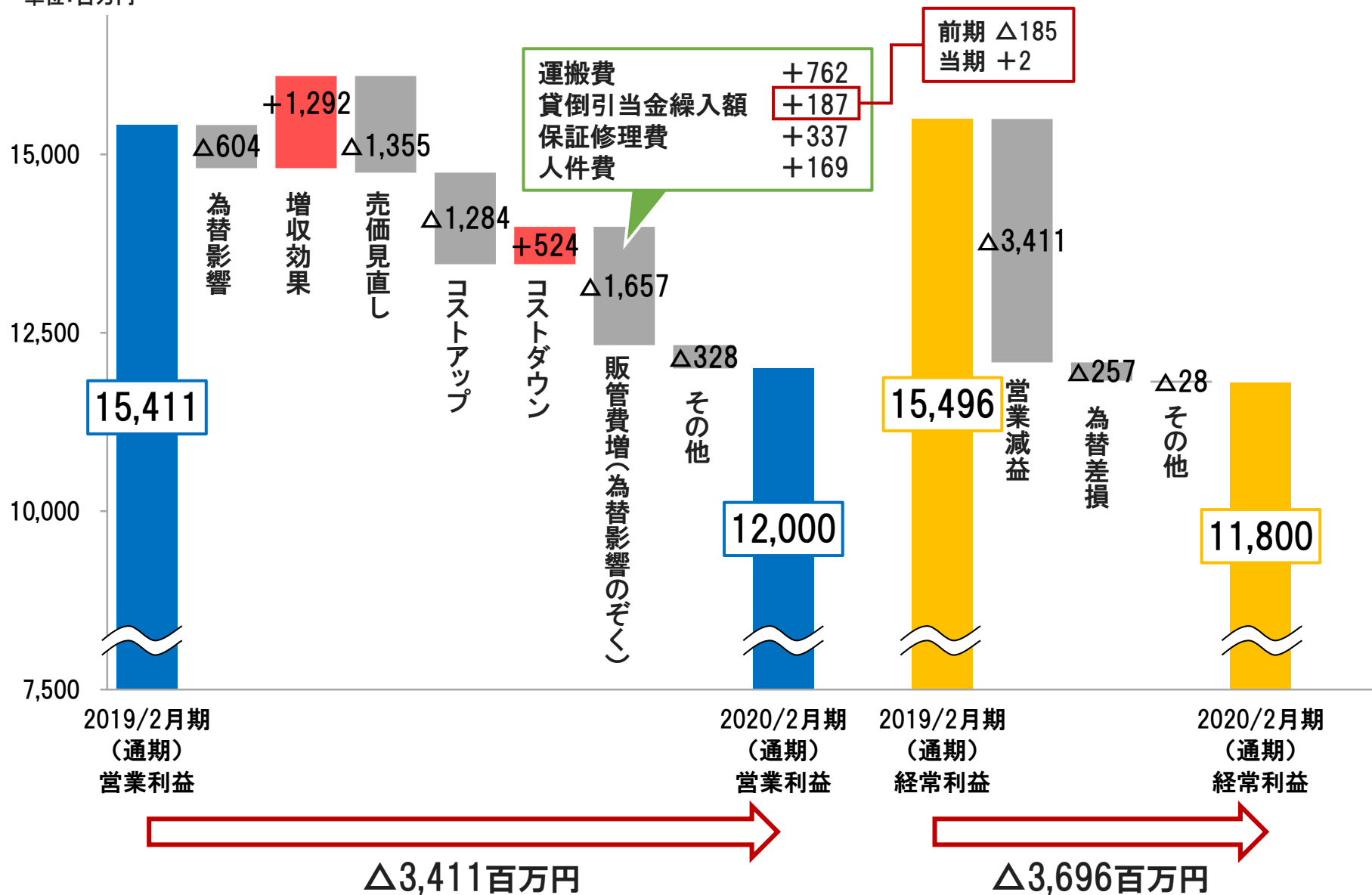
# 地域別売上高予想 (2020年2月期・通期予想)

単位:百万円	2019年2月期		2020年2月期					
	通期	構成比	3Q実績 (累計期間)	4Q予想 (3ヶ月間)	通期予想	構成比	増減額	増減率
■ 日本	940	0.9%	445	45	490	0.4%	△450	△47.9%
■ 北米	50,696	46.0%	42,711	9,809	52,520	45.9%	+1,823	+3.6%
■ 欧州	55,561	50.4%	47,090	12,890	59,980	52.4%	+4,418	+8.0%
■ アジア	1,000	0.9%	355	35	390	0.3%	△610	△61.0%
■ その他	1,977	1.8%	881	239	1,120	1.0%	△857	△43.4%
売上高合計	110,175	100.0%	91,483	23,017	114,500	100.0%	+4,324	+3.9%
円/米ドル	110.06円	—	109.15円	108.00円	108.87円	—	△1.19円	△1.1%
円/英ポンド	145.91円	—	138.75円	141.00円	138.98円	—	△6.93円	△4.7%
円/ユーロ	129.16円	—	121.58円	120.00円	121.39円	—	△7.77円	△6.0%
円/人民元	16.64円	—	15.90円	15.50円	15.80円	—	△0.84円	△5.0%



# 連結損益増減要因 (2020年2月期・通期予想)

単位: 百万円

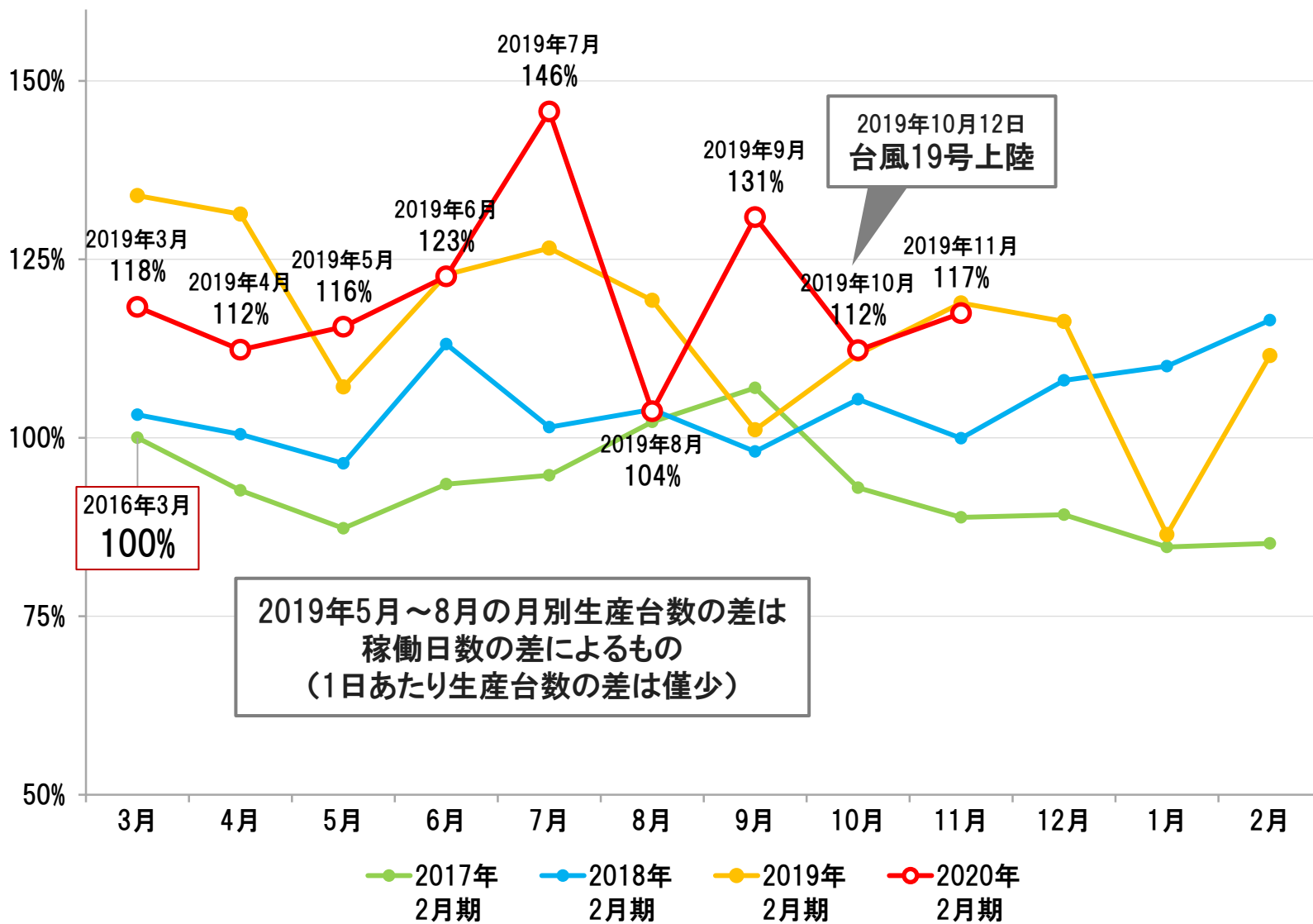


- ▶ 中期経営計画の課題進捗
- ▶ 市場環境、需要動向
- ▶ 2020年2月期・連結業績 3Q累計実績
- ▶ 2020年2月期・連結業績 通期予想
- ▶ **ご参考資料**  
(2020年2月期・連結業績 上期実績 説明資料を付録)



# 月別生産台数の推移

2016年3月 = 100%



会社名	株式会社竹内製作所	
英文社名	TAKEUCHI MFG. CO., LTD.	
代表者	代表取締役社長 竹内敏也	
本社所在地	長野県埴科郡坂城町上平205番地	
設立	1963年8月21日	
決算期	2月末	
資本金	3,632百万円 (2019年2月28日現在)	
売上高(連結)	110,175百万円 (2019年2月期)	
従業員数(連結)	811名 (2019年11月30日現在)	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 6432)	
子会社	米国	TAKEUCHI MFG.(U.S.),LTD. (設立 1979年2月)
	英国	TAKEUCHI MFG.(U.K.)LTD. (設立 1996年10月)
	仏国	TAKEUCHI FRANCE S.A.S. (設立 2000年6月)
	中国	竹内工程機械(青島)有限公司 (設立 2005年4月)

## <主力製品>

### ミニショベル・油圧ショベル

- ✓ 当社が世界初のミニショベルを開発(1971年)
- ✓ ミニショベル  
製品質量が6トン未満のもの
- ✓ 油圧ショベル  
製品質量が6トン以上のもの

#### 主な用途

- ✓ 住宅建設の基礎工事
- ✓ 水道管、ガス管等の配管工事
- ✓ 公園や庭に木を植える造園工事
- ✓ 老朽化した建物の解体・修復工事



### クローラーローダー

- ✓ 当社が世界初のクローラーローダーを開発(1986年)
- ✓ ミニ/油圧ショベルより移動速度が速く、運搬作業に向く
- ✓ ほとんどが北米需要、北米販売

#### 主な用途

- ✓ ミニショベルで掘削した土砂の運搬
- ✓ 地面の掘削、整地
- ✓ アーム先端のバケット部を交換することで様々な作業が可能



単位:百万円		第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期(予想)	
		2015年2月期	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期	前年増減額
日	本	1,549	2,740	2,093	2,427	940	490	△450
北	米	31,094	40,503	39,657	45,360	50,696	52,520	+1,823
欧	州	33,431	39,009	37,988	43,467	55,561	59,980	+4,418
ア	ジ	1,742	894	760	864	1,000	390	△610
そ	の	2,075	2,072	2,501	2,222	1,977	1,120	△857
他								
売	上	69,893	85,218	83,000	94,342	110,175	114,500	+4,324
高								
営	業	10,593	16,222	13,404	14,133	15,411	12,000	△3,411
利	益							
経	常	12,249	15,291	11,722	14,033	15,496	11,800	△3,696
利	益							
親会社株主に帰属する								
当	期	7,694	9,708	7,757	9,547	11,391	8,550	△2,841
純	利							
益								
1	株	157.04円	198.14円	162.07円	200.20円	238.83円	179.28円	△59.55円
純	利							
益	※1							
1	株	9.00円	22.00円	26.00円	36.00円	45.00円	50.00円	+5.00円
配	当							
金								
円	／	108.42円	121.25円	108.30円	111.58円	110.06円	108.87円	△1.19円
米	ドル							
円	／	174.79円	184.99円	145.32円	146.80円	145.91円	138.98円	△6.93円
英	ポンド							
円	／	139.74円	133.16円	119.55円	128.67円	129.16円	121.39円	△7.77円
ユー	ロ							
円	／	17.26円	19.19円	16.40円	16.63円	16.64円	15.80円	△0.84円
人	民							
元								
純	資	46,093	55,043	60,080	68,106	77,180		
資	産							
総	資	66,311	77,216	83,085	91,799	104,045		
資	産							
自	己	69.5%	71.3%	72.3%	74.2%	74.2%		
資	本							
比	率							
R	O	18.5%	19.2%	13.5%	14.9%	15.7%		
E	※3							
R	O	20.6%	21.3%	14.6%	16.0%	15.8%		
A	※4							

	3Q(累)実績	4Q前提
USD	109.15円	108.00円
GBP	138.75円	141.00円
EUR	121.58円	120.00円
RMB	15.90円	15.50円

※1 2015年9月1日付で1:3の割合で株式分割を実施、第53期の1株純利益、1株配当金は、当該株式分割を考慮して便宜的に表示

※2 為替レートは、12ヶ月間の平均レートを表示

※3 ROE(自己資本当期純利益率) = 当期純利益÷純資産×100 (純資産は期首・期末の平均値)

※4 ROA(総資産経常利益率) = 経常利益÷総資産×100 (総資産は " )

▶ **付録**  
**2020年2月期・連結業績 上期実績**

### (1) 販売台数は米国で減少、欧州で増加、トータルで横ばい (対前年同期比)

- 北米の販売台数は **10.4%減少** (1Q:0.0%横ばい、2Q:16.9%減少、対前年同期比)
  - 天候不良の影響で販売の一部が先延ばし
  - 買入部品の調達制限の影響で米国向けの製品出荷を制限
- 欧州の販売台数は **14.4%増加** (1Q:14.9%増加、2Q:13.9%増加、対前年同期比)
  - 2018年3月発売のミニショベル(TB225/2.3トン)が引き続き販売好調
  - 2019年2月発売のミニショベル(TB235-2/3.5トン、TB250-2/5.0トン)も順調な滑り出し
  - 国別では、イギリスが軟調なものの、フランス、ドイツ、オーストリアが販売好調
- トータル販売台数は **0.5%増加** (1Q:4.6%増加、2Q:2.7%減少、対前年同期比)

} 下期での回復を見込む

### (2) 売上高は4.4%増加したが、営業利益は14.6%減少 (連結、対前年同期比)

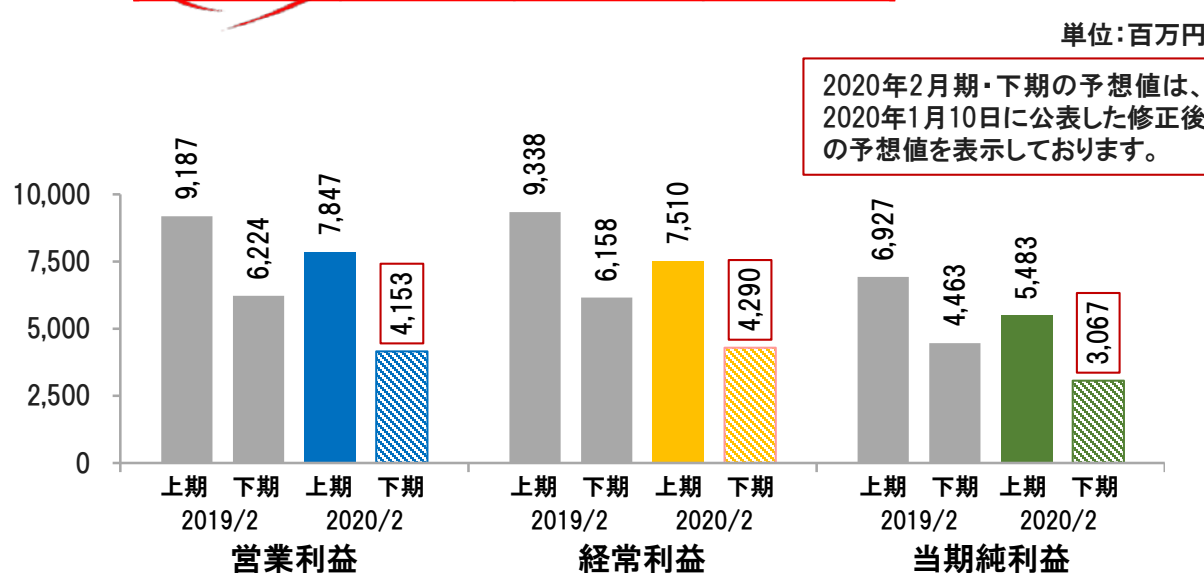
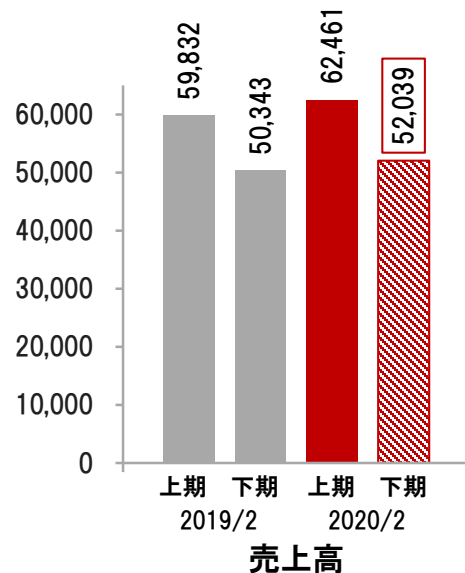
#### 【主な要因】

- 拡販に向けた政策的な販売価格を設定
- 変動費(主に原材料費)、固定費(労務費、減価償却費など)ともに製造原価が増加
- 販管費(運搬費、貸倒引当金繰入額、人件費など)が4億9,800万円増加  
(為替影響を除く)

# 連結業績ハイライト (2020年2月期・上期実績)

## 付 録

単位:百万円	2019年2月期		2020年2月期				上期 期初予想	対期初予想 増減額
	上期実績	売上比率	上期実績	売上比率	前年同期 増減額	前年同期 増減率		
■ 売上高	59,832	—	62,461	—	+2,629	+4.4%	64,500	△2,039
■ 営業利益	9,187	15.4%	7,847	12.6%	△1,340	△14.6%	8,700	△853
■ 経常利益	9,338	15.6%	7,510	12.0%	△1,827	△19.6%	8,700	△1,190
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	6,927	11.6%	5,483	8.8%	△1,443	△20.8%	6,200	△717
設備投資額	811	1.4%	1,674	2.7%	+863	+106.4%	1,383	+291
減価償却費	598	1.0%	666	1.1%	+68	+11.4%	653	+13
受注高	64,045	—	60,187	—	△3,858	△6.0%	***	—
受注残高	26,737	—	28,015	—	+1,278	+4.8%	***	—

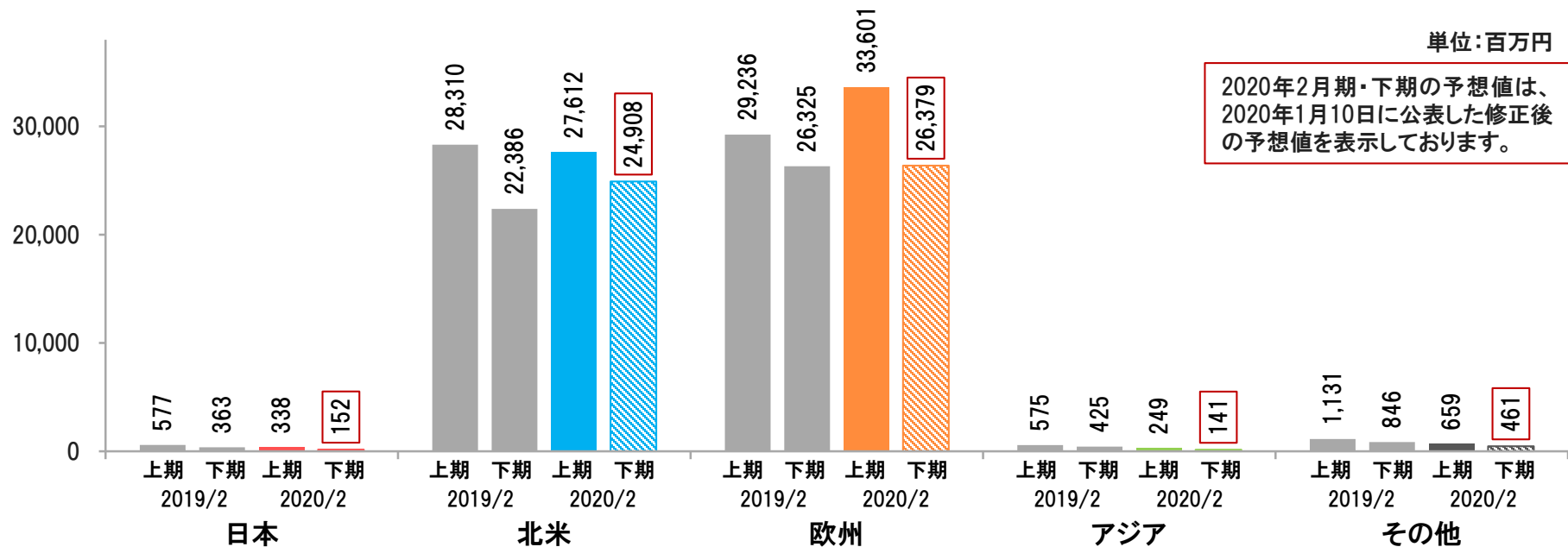


2020年2月期・下期の予想値は、2020年1月10日に公表した修正後の予想値を表示しております。

# 地域別売上高 (2020年2月期・上期実績)

付 録

単位:百万円	2019年2月期		2020年2月期				上期 期初予想	対期初予想 増減額
	上期実績	構成比	上期実績	構成比	前年同期 増減額	前年同期 増減率		
日本	577	1.0%	338	0.5%	△238	△41.3%	270	+68
北米	28,310	47.3%	27,612	44.2%	△698	△2.5%	31,820	△4,208
欧州	29,236	48.9%	33,601	53.8%	+4,365	+14.9%	31,590	+2,011
アジア	575	1.0%	249	0.4%	△326	△56.7%	340	△91
その他	1,131	1.9%	659	1.1%	△472	△41.7%	480	+179
売上高合計	59,832	100.0%	62,461	100.0%	+2,629	+4.4%	64,500	△2,039
海外売上高	59,254	99.0%	62,123	99.5%	+2,868	+4.8%	64,230	△2,107

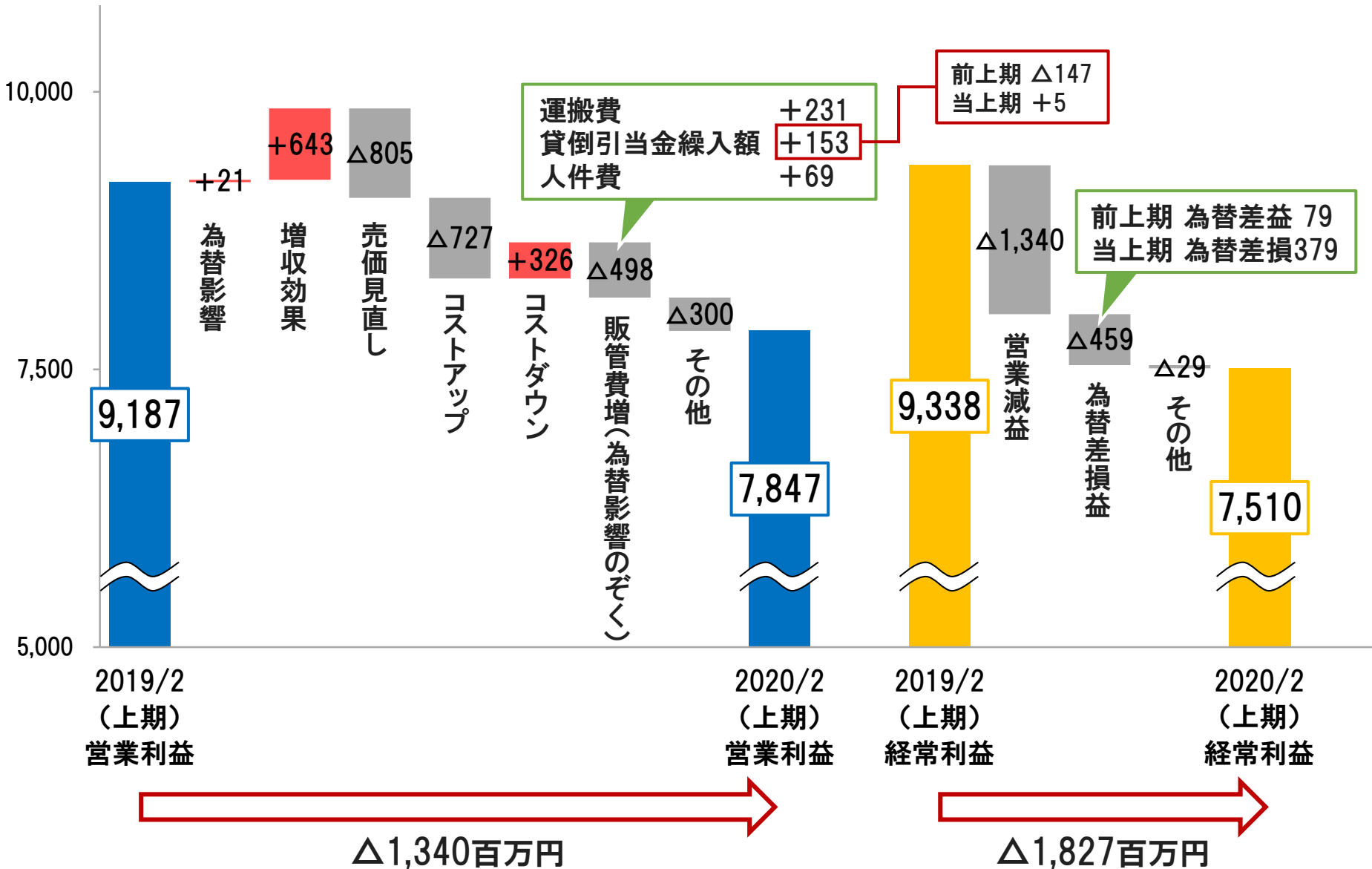




# 連結損益増減要因 (2020年2月期・上期実績)

付 録

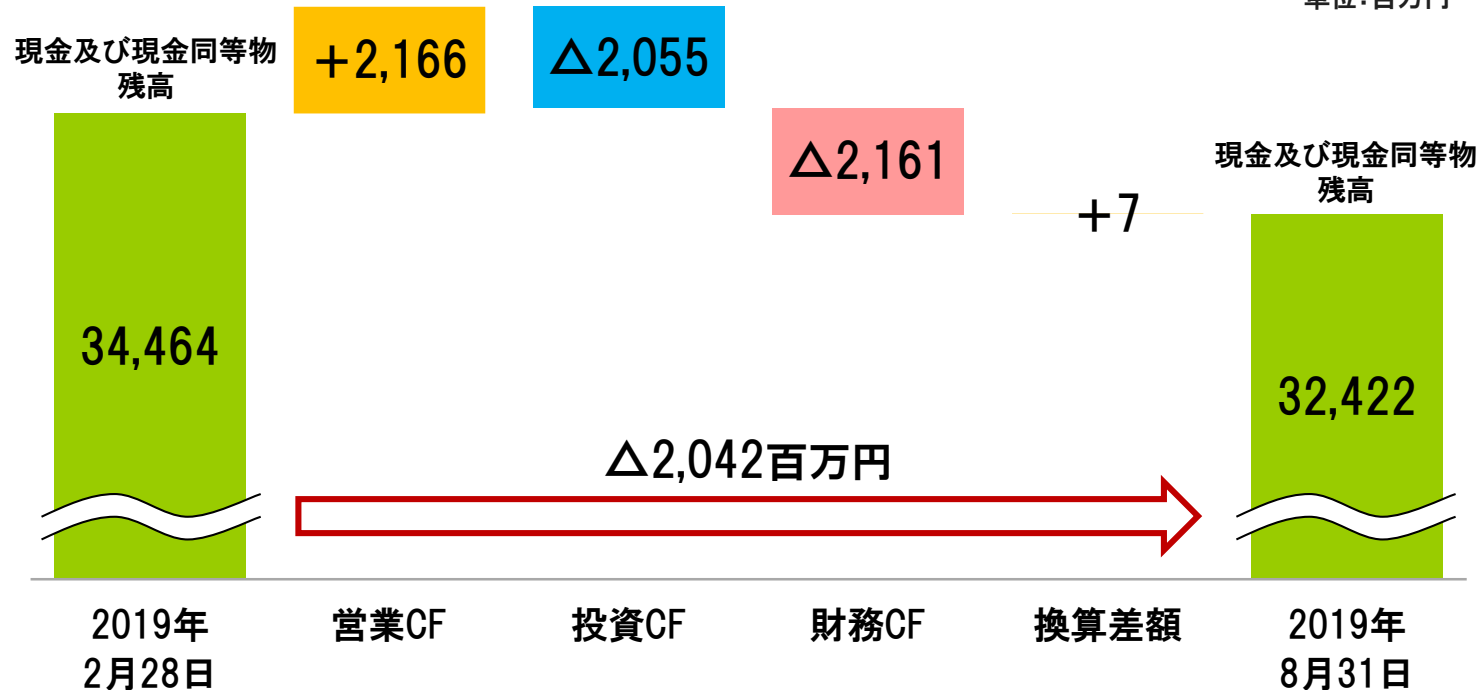
単位: 百万円



# 連結キャッシュ・フロー計算書 (2020年2月期・上期実績)

付 録

単位:百万円



単位:百万円

営業キャッシュ・フロー	増減額	投資キャッシュ・フロー	増減額	財務キャッシュ・フロー	増減額
税金等調整前四半期純利益	7,510	有形・固定資産の取得	△1,636	配当金の支払	△2,137
減価償却費	666	無形・固定資産の取得	△139		
たな卸資産の減少	4,789	投資有価証券の取得	△300		
運転資金の増加	△8,241				
法人税等の支払	△2,254				
その他	△304	その他	20	その他	△24
合計	2,166	合計	△2,055	合計	△2,161

お問い合わせ先  
**株式会社竹内製作所**

経営管理部 経営企画課

TEL : 0268-81-1200

FAX : 0268-81-1127

E-mail : [ir@takeuchi-mfg.com](mailto:ir@takeuchi-mfg.com)

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確定要素を含んでおります。

そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、業績予想と乖離することがあり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。